

薬連ハイライト

日薬学術大会に日本薬剤師連盟ブースが出展される

令和6年9月22日(日)・23日(月・祝)、第57回日本薬剤師会学術大会が埼玉県の大宮ソニックシティ/さいたまスーパーアリーナ/パレスホテル大宮にて開催された。今回は現地開催&ライブ配信に加え、後日オンデマンドでの配信も予定され、受講機会に配慮した形での開催であった。2日間の参加者は8,000名を超え、そのうち約1/4はWebでの参加者であった。

日本薬剤師連盟は、さいたまスーパーアリーナのコミュニティアリーナ展示会場内にブースを出展し、1日目は9:00~18:30、2日目は8:00~12:00、ポスター展示や写真のスライドショー上映、連盟活動啓発グッズやピラ、チラシの配布とともに、

連盟キャラクターのファーマちゃんの撮影会などを行った。また、2日間にわたり、本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員がそれぞれブースに立ち、訪れた参加者と挨拶や意見交換とともに写真撮影も行った。特に、2人が同時にブースに並ぶ時間帯は、順番待ちの行列ができるなど大盛況だった。本田議員、神谷議員ともに多くの参加者と直接お会いする機会を得ることができ、訪れた参加者から、多くの応援の声や現場の訴えを聞くとともに、直近の課題や活動内容を伝えることができた。

若い薬剤師からは、薬剤師連盟の役割や薬剤師議員が何をしているのかをもっと聞きたい、ぜひ直接多くの薬剤師に話をしてほしいと言った要望も聞かれた。当日の様子は、薬剤師連盟の機関誌『POWER!』10月号に掲載しているのので、ぜひご覧いただきたい。

オレンジ日記

彩りと希望あふれる薬剤師の未来のために~学術大会 in さいたま~

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



9月22、23日の両日、第57回日本薬剤師会学術大会が埼玉県さいたま市で開催され、開会式ではイタリア出張中の盛山正仁文部科学大臣に代わり文部科学省を代表して挨拶をいたしました。

昨年10月からの約1年間にわたる文部科学大臣政務官としての公務についてはこれまでブログ等でお伝えしてきましたが、今回の大臣祝辞(代読)では、ウェブ参加の先生方を含め大勢の薬剤師の先生方に、薬剤師と関わりが深い来年度予算要求のことや薬剤師の偏在解消につなげるための養成プログラムなどに加え、今年度からの薬学教育モデル・コア・カリキュラムは「薬剤師の未来を彩る」今回の学術大会のテーマに通じるものであることをお伝えすることができました。

大会期間中、多くの時間を展示会場で過ごしました。今回の学術大会でお披露目された日本薬剤師会の公式キャラクター“ふあるみん”ともコラボしながら、日薬連盟ブースを訪ねてきていただいた都道府県薬剤師会の先生方は元より、出展企業・団体の方々やポスター発表されている若手薬剤師の皆さんとも交流できました。また、学術大会に合わせて開催されました14大学の同窓会会場にも回らせていただき、彩り豊かな出会いの時間をいただきました。皆様ありがとうございました。

薬剤師の医療における礎を築かれた石井道子先生の生誕の地で開催されました学術大会での多くの方との触れあいをしっかりと継承し、そして新たな出会いを「未来」に生かし、薬剤師の「彩りと希望あふれる未来」へとつなげてまいります。

政 幸 だ よ り

長崎県五島列島(ドローンを利用した医薬品配送)

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



令和6年8月8日と9日の両日、長崎県五島列島を訪問し、離島での医薬品供給体制と病院薬剤師の派遣事業を視察しました。今回は五島列島で実施されているドローンを利用した医薬品配送についてご紹介します。長崎県薬剤師会の井手副会長、日本病院薬剤師会の武田会長、長崎県病院薬剤師会会長で長崎大学病院の大山薬剤部長とご一緒に訪問させていただきました。

豊田通商株式会社は、グループ会社「そらいいな株式会社」を五島市に設立し、令和4年5月からジップライン社製のドローンを使用した医療用医薬品の配送事業を開始しました。このドローンは各目的地別に1日2~4便体制で運用されており、発注から2時間以内の配送が可能です。現在、医薬品の配送コストは医薬品卸、及びそらいいな社の協力によって賄われており、拠点設立時には助成金も活用されました。特に長崎大学病院等、島外の医療機関を受診した患者さんの処方薬が地元にはない場合でも、ドローン配送によって医薬品の安定供給が確保されています。福江島のドローン基地での発着試験飛行を視察した後、意見交換の場を設けていただきました。

翌日、中通島でうおめ薬局を運営される五島薬剤師会会長の濱崎和久先生からお話を伺った後、有川港で医薬品を入れたパラシュート付きの箱の投下による配送現場を視察しました。ドローンの積載量は約1kgで、これまでに配送された医薬品の品質に問題はなく、配送は大きな助けとなっています。今年6月に開催された国家戦略特区諮問会議では、長崎県と福島県が全国で初となる「新技術実装連携“絆”特区」に指定されました。現在は海上のみが飛行ルートとなっていますが、特区指定により、将来的には有人エリアでの目視外飛行が可能となり、さらなる利便性の向上が期待されています。離島やへき地での医薬品供給体制を、今後も引き続き支援してまいります。